

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年11月21日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000014"/> 整理番号 <input type="text" value="11263"/> 担当者 <input type="text" value="加根魯 和宏"/>
表 題	<input type="text" value="地震防災情報配信システム"/>
技術分野	<input type="text" value="情報・通信"/> <input type="text" value="土木・建築"/> <input type="text" value="生活・文化"/>
適用製品	<input type="text" value="自治体の地震減災のための情報システム"/>
目 的	<p>現在の地震災害マップはメッシュが粗く、また個々の建物の耐震性能などは記載されていない。そのため緊急地震情報による震源・震度及びマグニチュード等の情報では、個々の建物の被害の推定は難しく、初動対応の立ち上げにはかなりの時間を要している。</p> <p>本技術は、地震襲来後に即座に被害推定を行い、初動対応支援及び救援救護活動などに利用できるとともに、災害に強い町作りの活動への利用をめざす。</p>
技術概要	<p>日常活動により、地域特性を考慮したメッシュ内の代表的な建物に簡易な地震計を設置、建物特性(固有周期、振動モード、減衰定数)等の入力データを整備することにより、地域の対地震性能を顕在化できるシステム作りを提供している。</p> <p>そのため、設置する簡易な地震計では即座に応答スペクトルが算出でき、且つ建物特性が入力されている場合には即座に個々の建物の被害状況が判定できるシステムが組み込まれている。これにより、地震襲来の際には、揺れ到着後、即座に個々の建物レベルを含んだ地域の地震被害の把握が可能であり、被災者には非難場所及び経路の提示が配信できるとともに、災害本部では初動対応案をすばやく作成でき、2次災害の発生による被害の拡大化を防ぐことが可能となる。</p>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp